

フェニックス褶曲

フェニックス褶曲は構造褶曲のとても良い例です。この褶曲は約 3000 万年前に地下で発生し、沈み込みと呼ばれる現象によって、ひとつの構造プレートが他の構造プレートの下へ入っていくこと引き起こされた結果として表面に折り目が出来ました。特徴的な折り目の形と、中心部の砂岩脈は、地質学的な力が継続された結果です。

すさみ町の沿岸にある、この地質学上の奇跡に辿り着くのは冒険的な行為で、南紀熊野ジオパークセンターのエキスパートによるガイドが必須です。周参見駅(または他の待ち合わせ場所) から入り口へと案内してくれます。そこからは急勾配の下り道を含む軽いロッククライミングの様な、短いが頑張りどころのある道を下り、褶曲まで降りて行きます。

ガイドツアーは約 1 時間半の時間を要します。ジオパークセンターへの事前予約が必須です。ヘルメット着用を強くお勧めします。センターを通じて手配することも出来ます。